

米国経済・株式市場情報

米長期金利上昇で米国株調整の動き

調整色を強めるハイテク関連銘柄、改めて業種分散投資の重要性増す

- 想定より堅調な米国景気をうけ利下げ見通しが後ずれ。金融引き締め長期化懸念から米国株は調整。
- 調整する米国株においては業種によって動きはまちまち。米国景気や金融政策などへの市場の見方が分かれる中、改めて業種分散投資の重要性が増す。

米国株は足元調整基調に

- FRB(米連邦準備制度理事会)は、7月FOMC(米連邦公開市場委員会)において0.25%の利上げを決定し、今後1~2回程度の利上げを示唆しました。市場は2023年後半に利上げ停止、2024年中の利下げを想定していますが、直近の利下げ見通しは後ずれしています(図表1)。その背景には堅調な小売売上高、良好な2023年7~9月期のGDP(国内総生産)見通しから「想定よりも米国景気は底堅い」との見方があると思われます。米国株は早期の利上げ停止や利下げ開始を想定し、ハイテク関連銘柄を中心に上昇してきましたが、足元は金融引き締めの長期化が意識され調整基調となっています。

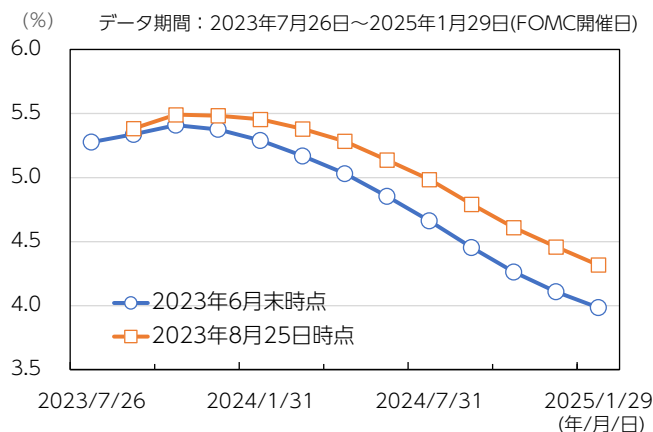
米長期金利上昇によりハイテク関連銘柄に売り

- 7月の雇用統計では、労働需給がひっ迫し、賃金上昇率が高止まりしていることが示されました。モノ価格の上昇は一服しているものの、賃金インフレへの圧力が依然強いことから金融引き締めが継続されるとの観測に加え、米国債格下げや財政拡大懸念から、足元の米長期金利は上昇基調となっています(図表2)。これまで堅調に推移してきた米国株は金利上昇により割高感が意識されやすいハイテク関連銘柄を中心に売られています。これまで相場をけん引してきたハイテク関連銘柄の下落により米国株が調整する状況は、昨年から金利上昇局面でたびたびみられました。

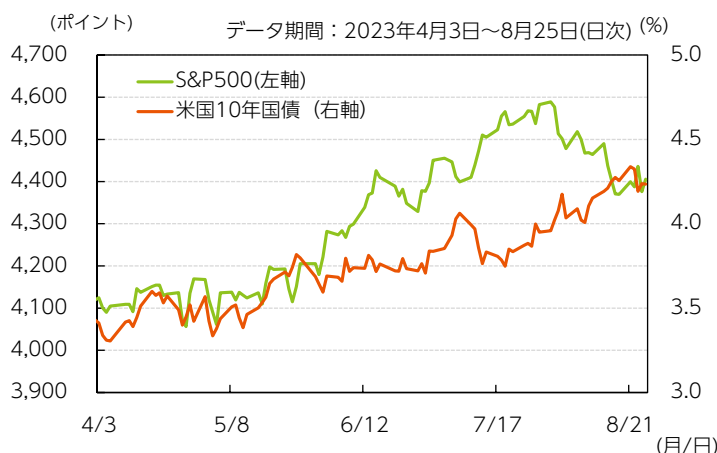
業種によりまちまちの展開、業種分散の重要性

- 足元米国株は調整していますが、業種によって動きはまちまちで、ハイテク関連銘柄を中心とした情報株は下落するものの、エネルギー株などは原油価格の上昇などをうけて足元上昇基調にあります。米国景気動向、利上げ・利下げのタイミングなどの金融政策、長期金利はどの水準まで上昇するのかなど市場の見方が分かれる現状においては、改めて業種分散投資の重要性が意識される相場環境が当面続くものと思われます(図表3)。

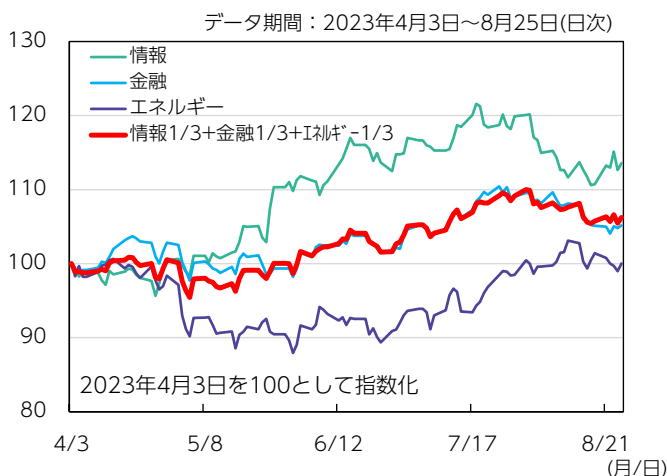
図表1：金利先物市場における政策金利見通し



図表2：米国株と米国長期金利の推移



図表3：S&P500業種別指数と各指数に分散投資したケース



出所) 図表1~3はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>